



ストレージプールを設定する

StorageGRID

NetApp
October 03, 2025

目次

| | |
|---|----|
| ストレージプールを設定する | 1 |
| ストレージプールとは | 1 |
| ストレージプールの作成に関するガイドラインを次に示します | 1 |
| すべてのストレージプールのガイドライン | 1 |
| レプリケートコピーに使用するストレージプールのガイドライン | 2 |
| イレイジャーコーディングされたコピーに使用するストレージプールのガイドラインを次に示します | 2 |
| アーカイブされたコピーに使用するストレージプールのガイドラインを次に示します | 2 |
| 複数のストレージプールを使用してサイト間レプリケーションを行う | 3 |
| 一時的な場所としてストレージプールを使用する（廃止） | 5 |
| ストレージプールを作成します | 5 |
| ストレージプールの詳細を表示します | 8 |
| ストレージプールを編集します | 12 |
| ストレージプールを削除します | 13 |

ストレージプールを設定する

ストレージプールとは

ストレージプールは、ストレージノードまたはアーカイブノードを論理的にグループ化したものです。ストレージプールの設定で、StorageGRID システムがオブジェクトデータを格納する場所と、使用するストレージのタイプを決定します。

ストレージプールには 2 つの属性があります。

- *ストレージグレード*：ストレージノードの場合は、バックингストレージの相対的なパフォーマンス。
- *サイト*：オブジェクトを格納するデータセンター。

ストレージプールは、オブジェクトデータの格納先を決定するために ILM ルールで使用されます。レプリケーションのための ILM ルールを設定する際は、ストレージノードまたはアーカイブノードを含むストレージプールを 1 つ以上選択します。イレイジャーコーディングプロファイルを作成する際は、ストレージノードを含むストレージプールを選択します。

ストレージプールの作成に関するガイドラインを次に示します

ストレージプールを設定して使用する場合は、次のガイドラインに従ってください。

すべてのストレージプールのガイドライン

- StorageGRID には、デフォルトのストレージプールとすべてのストレージノードが含まれ、デフォルトサイト、すべてのサイト、およびデフォルトのストレージグレードであるすべてのストレージノードが使用されます。新しいデータセンターサイトを追加するたびに、All Storage Nodes ストレージプールが自動的に更新されます。



All Storage Nodes ストレージプールまたはすべてのサイトサイトサイトは、拡張に追加する新しいサイトが自動的に更新されて追加されるため、推奨されません。これは動作ではない可能性があります。All Storage Nodes ストレージプールまたはデフォルトサイトを使用する前に、レプリケートコピーとイレイジャーコーディングコピーに関するガイドラインをよく確認してください。

- ストレージプールの設定は可能なかぎりシンプルにします。必要以上に多くのストレージプールを作成しないでください。
- できるだけ多くのノードを含むストレージプールを作成します。各ストレージプールには 2 つ以上のノードを含める必要があります。ノードが不十分なストレージプールでは、ノードが使用できなくなった場合に原因 ILM バックログが発生する可能性があります。
- 重複する（1 つ以上の同じノードを含む）ストレージプールを作成または使用することは避けてください。ストレージプールが重複していると、オブジェクトデータの複数のコピーが同じノードに保存される可能性があります。

レプリケートコピーに使用するストレージプールのガイドライン

- ・サイトごとに異なるストレージプールを作成します。次に、ルールごとに配置手順でサイト固有のストレージプールを 1 つ以上指定します。各サイトにストレージプールを使用すると、レプリケートされたオブジェクトコピーが想定どおりに配置されるようになります（たとえば、サイト障害から保護するために、各サイトのすべてのオブジェクトのコピーが 1 つずつ）。
- ・拡張でサイトを追加する場合は、新しいサイト用の新しいストレージプールを作成します。次に、新しいサイトに格納するオブジェクトを制御するために ILM ルールを更新します。
- ・通常は、デフォルトのストレージプール、すべてのストレージノード、またはデフォルトサイトであるすべてのサイトを含むストレージプールを使用しないでください。

イレイジャーコーディングされたコピーに使用するストレージプールのガイドラインを次に示します

- ・イレイジャーコーディングデータ用にアーカイブノードを使用することはできません。
- ・ストレージプールに含まれるストレージノードとサイトの数によって、使用できるイレイジャーコーディングスキームが決まります。
- ・ストレージプールにサイトが 2 つしかない場合、そのストレージプールをイレイジャーコーディングに使用することはできません。2 つのサイトを含むストレージプールではイレイジャーコーディングスキームを使用できません。
- ・通常は、デフォルトのストレージプール、すべてのストレージノード、またはデフォルトサイトを含むすべてのサイトのいずれかのイレイジャーコーディングプロファイル内のストレージプールを使用しないでください。



グリッドにサイトが 1 つしかない場合、イレイジャーコーディングプロファイルに「すべてのストレージノード」ストレージプールまたは「すべてのサイト」デフォルトサイトを使用することはできません。これにより、2 つ目のサイトが追加された場合にイレイジャーコーディングプロファイルが無効になるのを防ぐことができます。

- ・高スループットが必要な場合、サイト間のネットワークレイテンシが 100 ミリ秒を超える状況では、複数のサイトを含むストレージプールを作成することは推奨されません。レイテンシが上昇すると TCP ネットワークのスループットが低下するため、StorageGRID がオブジェクトフラグメントを作成、配置、読み出す速度は大幅に低下します。スループットの低下は、オブジェクトの取り込みと読み出しの達成可能な最大速度に影響する（ Strict または Balanced が取り込み動作として選択されている場合）か、ILM キューのバックログが発生する可能性があります（ Dual Commit が取り込み動作として選択されている場合）。
- ・可能であれば、選択するイレイジャーコーディングスキームに必要な最小数よりも多くのストレージノードをストレージプールに含めてください。たとえば、6+3 のイレイジャーコーディングスキームを使用する場合は、9 個以上のストレージノードが必要です。ただし、サイトごとに少なくとも 1 つのストレージノードを追加することを推奨します。
- ・ストレージノードはサイト間にできるだけ均等に分散します。たとえば、6+3 のイレイジャーコーディングスキームをサポートするには、3 つのサイトにそれぞれ 1 つ以上のストレージノードを含むストレージプールを設定します。

アーカイブされたコピーに使用するストレージプールのガイドラインを次に示します

- ・ストレージノードとアーカイブノードの両方を含むストレージプールは作成できません。アーカイブされたコピーには、アーカイブノードのみを含むストレージプールが必要です。

- ・アーカイブノードが含まれたストレージプールを使用する場合は、ストレージノードが含まれたストレージプール上に、1つ以上のレプリケートコピーまたはイレイジャーコーディングコピーを保持する必要があります。
- ・グローバルな S3 オブジェクトロック設定が有効になっていて準拠 ILM ルールを作成する場合は、アーカイブノードが含まれたストレージプールを使用できません。S3 オブジェクトロックを使用してオブジェクトを管理する手順を参照してください。
- ・アーカイブノードの Target Type が「Cloud Tiering - Simple Storage Service (S3)」の場合、そのアーカイブノードは自身のストレージプールに含まれている必要があります。を参照してください [StorageGRID の管理](#)。

関連情報

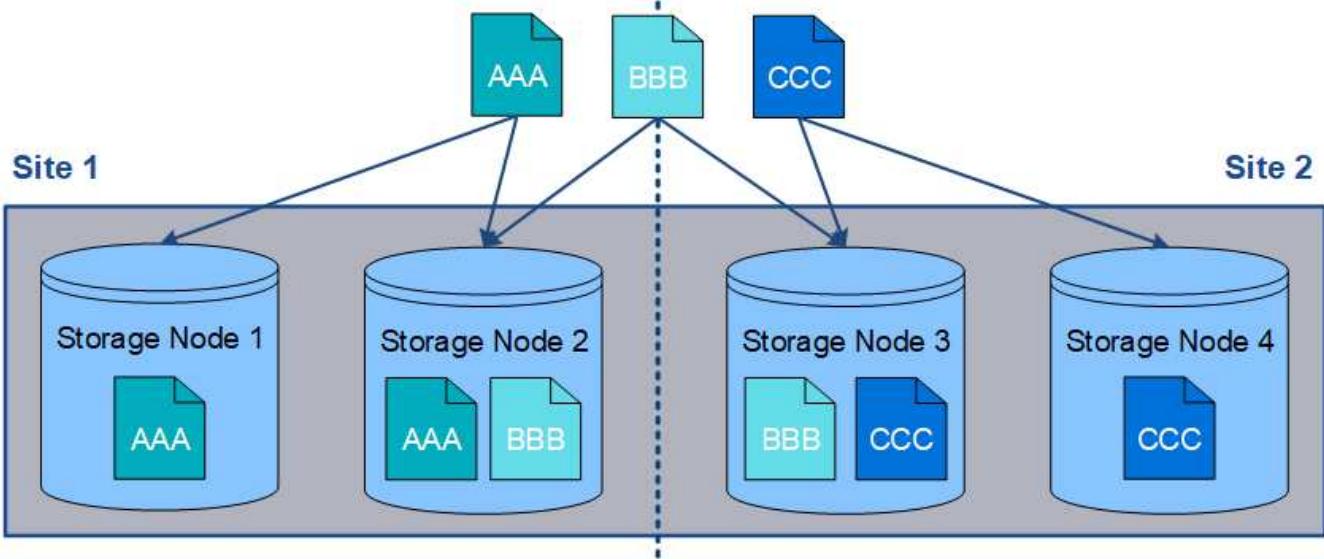
- ・[レプリケーションとは](#)
- ・[イレイジャーコーディングとは](#)
- ・[イレイジャーコーディングスキームとは](#)
- ・[複数のストレージプールを使用してサイト間レプリケーションを行う](#)

複数のストレージプールを使用してサイト間レプリケーションを行う

StorageGRID 環境に複数のサイトが含まれている場合は、各サイトにストレージプールを1つずつ作成し、ルールの配置手順に両方のストレージプールを指定することで、サイト障害から保護できます。たとえば、2つのレプリケートコピーを作成する ILM ルールを設定して、2つのサイトのストレージプールを指定すると、各オブジェクトのコピーが各サイトに1つずつ配置されます。2つのコピーを作成するルールを設定して3つのストレージプールを指定すると、2つのコピーが別々のサイトに格納される際、ストレージプール間のディスク使用量のバランスを保つようにコピーが分散されます。

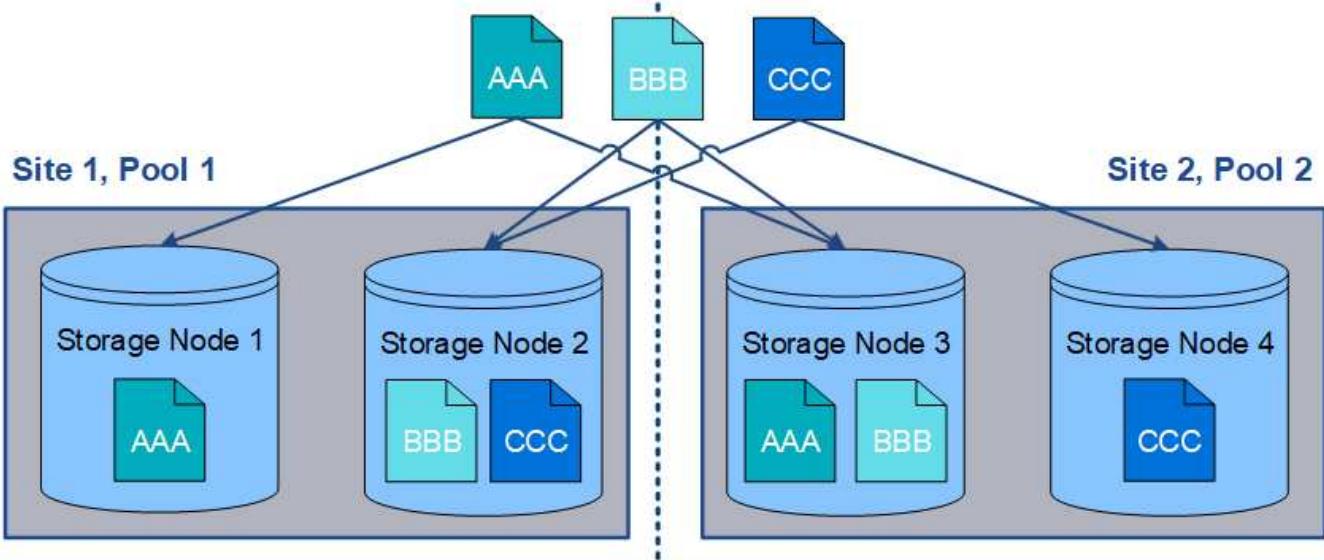
次の例は、ILM ルールによって2つのサイトのストレージノードを含む单一のストレージプールにレプリケートオブジェクトコピーが配置された場合にどうなるかを示しています。レプリケートコピーがストレージプール内の使用可能な任意のノードに配置されるため、一部のオブジェクトのすべてのコピーが1つのサイト内にのみ配置される可能性があります。この例では、システムはオブジェクト AAA の2つのコピーをサイト1の別々のストレージノードに、オブジェクト CCC の2つのコピーをサイト2の別々のストレージノードに格納しています。いずれかのサイトで障害が発生したりアクセスできなくなった場合、保護されるのはオブジェクト BBB だけです。

Make 2 Copies (2 sites, 1 pool)



一方、この例は、複数のストレージプールを使用した場合のオブジェクトの格納方法を示しています。この例の ILM ルールは、各オブジェクトのレプリケートコピーを 2 つ作成して 2 つのストレージプールに分散するように指定されています。各ストレージプールには一方のサイトのすべてのストレージノードが含まれています。各オブジェクトのコピーは各サイトに格納されるため、オブジェクトデータはサイトの障害やサイトへのアクセス障害から保護されます。

Make 2 Copies (2 sites, 2 pools)



複数のストレージプールを使用する場合は、次の点に注意してください。

- n 個のコピーを作成する場合は、 n 個以上のストレージプールを追加する必要があります。たとえば、3 つのコピーを作成するようにルールが設定されている場合は、ストレージプールを 3 つ以上指定する必要があります。
- コピーの数がストレージプールの数と同じ場合は、オブジェクトのコピーが 1 つずつ各ストレージプールに格納されます。
- コピーの数がストレージプールの数より少ない場合、プール間のディスク使用量のバランスを維持し、複数のコピーが同じストレージプールに格納されないようにコピーが分散されます。

- ストレージプールが重複している（同じストレージノードを含んでいる）場合は、オブジェクトのすべてのコピーが1つのサイトにのみ保存される可能性があります。選択したストレージプールに同じストレージノードが含まれていないことを確認する必要があります。

一時的な場所としてストレージプールを使用する（廃止）

ストレージプールを1つ含むオブジェクトの配置を使用してILMルールを作成する場合は、一時的な場所として使用する2つ目のストレージプールを指定するように求められます。

一時的な場所は廃止されており、今後のリリースで削除される予定です。ストレージプールは、新しいILMルールの一時的な場所として選択しないでください。



Strict取り込み動作を選択した場合（Create ILM Rule ウィザードのステップ3）、一時的な場所は無視されます。

関連情報

[取り込みのデータ保護オプション](#)

ストレージプールを作成します

ストレージプールを作成することで、StorageGRIDシステムがオブジェクトデータを格納する場所と、使用するストレージのタイプを決定します。各ストレージプールには、サイトとストレージグレードがそれぞれ1つ以上含まれています。

必要なもの

- を使用してGrid Managerにサインインします [サポートされているWebブラウザ](#)。
- 特定のアクセス権限が必要です。
- ストレージプールの作成に関するガイドラインを確認しておく必要があります。

このタスクについて

ストレージプールは、オブジェクトデータの格納場所を決定します。必要なストレージプールの数は、グリッド内のサイトの数と、レプリケートコピーまたはイレイジャーコーディングコピーのタイプによって異なります。

- レプリケーションおよび単一サイトのイレイジャーコーディングの場合は、サイトごとにストレージプールを作成します。たとえば、レプリケートオブジェクトコピーを3つのサイトに格納する場合は、ストレージプールを3つ作成します。
- 3つ以上のサイトでイレイジャーコーディングする場合は、サイトごとに1つのエントリを含むストレージプールを1つ作成します。たとえば、3つのサイトにまたがるオブジェクトをイレイジャーコーディングする場合は、ストレージプールを1つ作成します。プラスアイコンを選択します [アイコン] をクリックして、各サイトのエントリを追加します。



イレイジャーコーディングプロファイルで使用されるストレージプールには、デフォルトの All Sites サイトを含めないでください。代わりに、イレイジャーコーディングデータを格納するサイトごとにストレージプールにエントリを追加します。を参照してください [この手順を実行します](#) たとえば、のように指定します。

- ストレージグレードが複数ある場合は、1つのサイトに異なるストレージグレードを含むストレージプールを作成しないでください。を参照してください [ストレージプールの作成に関するガイドラインを次に示します](#)。

手順

1. ILM * > * Storage pools * を選択します

Storage Pools (ストレージプール) ページが表示され、定義済みのすべてのストレージプールがリストされます。

Storage Pools

Storage Pools

A storage pool is a logical group of Storage Nodes or Archive Nodes and is used in ILM rules to determine where object data is stored.

| + Create Edit Remove View Details | | | | | |
|---|------------|------------|----------------|--------------------|--|
| Name | Used Space | Free Space | Total Capacity | ILM Usage | |
| All Storage Nodes | 1.10 MB | 102.90 TB | 102.90 TB | Used in 1 ILM rule | |

Displaying 1 storage pool.

Cloud Storage Pools

You can add Cloud Storage Pools to ILM rules to store objects outside of the StorageGRID system. A Cloud Storage Pool defines how to access the external bucket or container where objects will be stored.

| + Create Edit Remove Clear Error | | | |
|--|--|--|--|
| No Cloud Storage Pools found. | | | |

リストには、システムデフォルトのストレージプール、システムデフォルトサイトのすべてのサイトを使用するすべてのストレージノード、およびデフォルトのストレージグレードであるすべてのストレージノードが含まれます。



All Storage Nodes ストレージプールは、新しいデータセンターサイトを追加するたびに自動的に更新されるため、ILM ルールでこのストレージプールを使用することは推奨されません。

2. 新しいストレージプールを作成するには、「* 作成」を選択します。

Create Storage Pool (ストレージプールの作成) ダイアログボックスが表示されます。

Create Storage Pool

- For replication and single-site erasure coding, create a storage pool for each site.
- For erasure coding at three or more sites, click + to add each site to a single storage pool.
- Do not add more than one storage grade for a single site.

Name

Site Storage Grade

Viewing Storage Pool -

| Site Name | Archive Nodes | Storage Nodes |
|-----------|---------------|---------------|
|-----------|---------------|---------------|

3. ストレージプールの一意の名前を入力します。

イレイジャーコーディングプロファイルと ILM ルールを設定するときに識別しやすい名前を使用してください。

4. [*Site *] ドロップダウン・リストから 'このストレージ・プールのサイトを選択します

サイトを選択すると、表内のストレージノードとアーカイブノードの数が自動的に更新されます。

通常は、どのストレージプールにもデフォルトの「すべてのサイト」サイトを使用しないでください。All Sites ストレージプールを使用する ILM ルールでは、オブジェクトを任意の使用可能なサイトに配置することで、オブジェクトの配置をより細かく制御できます。また、All Sites ストレージプールは、新しいサイトのストレージノードを即座に使用しますが、これは想定どおりの動作ではありません。

5. ストレージグレード * ドロップダウンリストから、ILM ルールでこのストレージプールを使用する場合に使用するストレージのタイプを選択します。

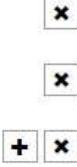
デフォルトの All Storage Nodes ストレージグレードには、選択したサイトのすべてのストレージノードが含まれます。Default Archive Nodes ストレージグレードには、選択したサイトのすべてのアーカイブノードが含まれます。グリッド内のストレージノード用にストレージグレードを追加で作成している場合、そのグレードもドロップダウンに表示されます。

6. [[entries]] マルチサイトイレイジャーコーディングプロファイルでストレージプールを使用する場合は、を選択します アイコン" をクリックして、各サイトのエントリをストレージプールに追加します。

Create Storage Pool

- For replication and single-site erasure coding, create a storage pool for each site.
- For erasure coding at three or more sites, select + to add each site to a single storage pool.
- Do not select more than one storage grade for a single site.

| | | | |
|------|--------------------------------|---------------|-------------------|
| Name | All 3 Sites for Erasure Coding | | |
| Site | Data Center 1 | Storage Grade | All Storage Nodes |
| Site | Data Center 2 | Storage Grade | All Storage Nodes |
| Site | Data Center 3 | Storage Grade | All Storage Nodes |



Viewing Storage Pool - All 3 Sites for Erasure Coding

| Site Name | Archive Nodes | Storage Nodes |
|---------------|---------------|---------------|
| Data Center 1 | 0 | 3 |
| Data Center 2 | 0 | 3 |
| Data Center 3 | 0 | 3 |

You are creating a multi-site storage pool, which should not be used for replication or single-site erasure coding.

[Cancel](#) [Save](#)



重複するエントリを作成したり、* アーカイブノード * ストレージグレードとストレージノードを含むストレージグレードの両方を含むストレージプールを作成したりすることはできません。

サイトに複数のエントリを追加しても、ストレージグレードが異なる場合は警告が表示されます。

エントリを削除するには、を選択します ✖。

7. 選択に問題がなければ、* 保存 * を選択します。

新しいストレージプールがリストに追加されます。

ストレージプールの詳細を表示します

ストレージプールの詳細を表示して、ストレージプールの使用場所を確認したり、含まれているノードやストレージグレードを確認したりできます。

必要なもの

- を使用して Grid Manager にサインインします [サポートされている Web ブラウザ](#)。
- 特定のアクセス権限が必要です。

手順

1. ILM * > * Storage pools * を選択します

Storage Pools (ストレージプール) ページが表示されます。このページには、定義済みのストレージプールがすべて表示されます。

Storage Pools

Storage Pools

A storage pool is a logical group of Storage Nodes or Archive Nodes and is used in ILM rules to determine where object data is stored.

| <input type="button" value="Create"/> <input type="button" value="Edit"/> <input type="button" value="Remove"/> <input type="button" value="View Details"/> | | | | | |
|---|-------------------|------------|------------|----------------|-------------------------------------|
| | Name | Used Space | Free Space | Total Capacity | ILM Usage |
| <input checked="" type="radio"/> | All Storage Nodes | 1.88 MB | 2.80 TB | 2.80 TB | Used in 1 ILM rule |
| <input type="radio"/> | DC1 | 621.77 KB | 932.42 GB | 932.42 GB | Used in 2 ILM rules |
| <input type="radio"/> | DC2 | 675.82 KB | 932.42 GB | 932.42 GB | Used in 2 ILM rules |
| <input type="radio"/> | DC3 | 578.95 KB | 932.42 GB | 932.42 GB | Used in 1 ILM rule |
| <input type="radio"/> | All 3 Sites | 1.88 MB | 2.80 TB | 2.80 TB | Used in 1 ILM rule and 1 EC profile |
| <input type="radio"/> | Archive | — | — | — | — |

Displaying 6 storage pools.

Cloud Storage Pools

You can add Cloud Storage Pools to ILM rules to store objects outside of the StorageGRID system. A Cloud Storage Pool defines how to access the external bucket or container where objects will be stored.

| <input type="button" value="Create"/> <input type="button" value="Edit"/> <input type="button" value="Remove"/> <input type="button" value="Clear Error"/> | | | |
|--|--|--|--|
| No Cloud Storage Pools found. | | | |

この表には、ストレージノードを含む各ストレージプールに関する次の情報が含まれています。

- * Name * : ストレージプールの一意の表示名。
- * Used Space * : ストレージプールにオブジェクトを格納するために現在使用されているスペースの量。
- * Free Space * : ストレージプールにオブジェクトを格納するために使用可能な残りのスペース。
- * Total Capacity * : ストレージプールのサイズ。ストレージプール内のすべてのノードのオブジェクトデータに使用可能なスペースの合計に相当します。
- * ILM Usage * : ストレージプールの現在の使用状況。ストレージプールは、使用されていない場合や、1つ以上のILMルール、イレイジャーコーディングプロファイル、またはその両方で使用されている場合があります。



使用中のストレージプールは削除できません。

2. 特定のストレージプールの詳細を表示するには、そのラジオボタンを選択し、「* 詳細を表示 *」を選択します。

Storage Pool Details モーダルが表示されます。

3. 「Nodes included *」タブを表示して、ストレージプールに含まれるストレージノードまたはアーカイブ

ノードについて確認します。

Storage Pool Details - DC1

Nodes Included **ILM Usage**

Number of Nodes: 3
Site - Storage Grade: DC1 - All Storage Nodes

| Node Name | Site Name | Used (%) | ↑ |
|-----------|-----------|----------|---|
| DC1-S3 | DC1 | 0.000% | |
| DC1-S2 | DC1 | 0.000% | |
| DC1-S1 | DC1 | 0.000% | |

Close

この表には、ノードごとに次の情報が記載されています。

- ノード名
- サイト名
- 使用済み（%）：ストレージノードの場合、オブジェクトデータに使用されている合計使用可能スペースの割合。この値にはオブジェクトメタデータは含まれません。



各ストレージノードの Storage Used - Object Data チャートにも同じ使用済み（%）値が表示されます（* nodes * > * Storage Node* > * Storage * を選択）。

4. 「* ILM Usage *」タブを選択して、ストレージプールが現在 ILM ルールやイレイジヤーコーディングプロファイルで使用されているかどうかを確認します。

この例では、DC1ストレージプールは、アクティブなILMポリシーに含まれる2つのルールとアクティブなポリシーに含まれない1つのルールという3つのILMルールで使用されます。

Storage Pool Details - DC1

Nodes Included

ILM Usage

ILM Rules Using the Storage Pool

The following ILM rules in the active ILM policy (Example ILM policy) use this storage pool.

- 3 copies for Account01
- 2 copies for smaller objects

1 ILM rule that is not in the active ILM policy uses this storage pool.

If you want to remove this storage pool, you must delete or edit every rule where it is used. Go to the ILM Rules page [🔗](#).

[Close](#)



ILM ルールで使用されているストレージプールは削除できません。

この例では、All 3 Sites ストレージプールがイレイジャーコーディングプロファイルで使用されています。そのイレイジャーコーディングプロファイルは、アクティブな ILM ポリシー内の 1 つの ILM ルールによって使用されます。

Storage Pool Details - All 3 Sites

Nodes Included

ILM Usage

ILM Rules Using the Storage Pool

The following ILM rules in the active ILM policy (Example ILM policy) use this storage pool.

- EC larger objects

If you want to remove this storage pool, you must delete or edit every rule where it is used. Go to the ILM Rules page [🔗](#).

[Close](#)



イレイジャーコーディングプロファイルで使用されているストレージプールは削除できません。

5. 必要に応じて、* ILM Rules ページ * に移動し、ストレージプールを使用するルールの確認と管理を行います。

ILM ルールの操作手順を参照してください。

6. ストレージプールの詳細の表示が完了したら、「*閉じる*」を選択します。

関連情報

[ILM ルールおよび ILM ポリシーの操作](#)

ストレージプールを編集します

ストレージプールを編集して、名前を変更したり、サイトやストレージグレードを更新したりできます。

必要なもの

- を使用して Grid Manager にサインインします [サポートされている Web ブラウザ](#)。
- 特定のアクセス権限が必要です。
- ストレージプールの作成に関するガイドラインを確認しておく必要があります。
- アクティブな ILM ポリシーのルールで使用されているストレージプールを編集する場合は、変更がオブジェクトデータの配置にどのように影響するかを検討しておく必要があります。

このタスクについて

アクティブな ILM ポリシーで使用されているストレージプールに新しいストレージグレードを追加する場合は、新しいストレージグレードのストレージノードが自動的には使用されないことに注意してください。StorageGRID で新しいストレージグレードを強制的に使用するには、編集したストレージプールを保存したあとに新しい ILM ポリシーをアクティブ化する必要があります。

手順

1. ILM * > * Storage pools * を選択します

Storage Pools (ストレージプール) ページが表示されます。

2. 編集するストレージプールのラジオボタンを選択します。

All Storage Nodes ストレージプールは編集できません。

3. 「*編集*」を選択します。
4. 必要に応じて、ストレージプール名を変更します。
5. 必要に応じて、他のサイトとストレージグレードを選択します。



ストレージプール原因 ガイレイジャーコーディングプロファイルで使用されている場合や、イレイジャーコーディングスキームを無効に変更する場合、サイトまたはストレージグレードを変更することはできません。たとえば、イレイジャーコーディングプロファイルで使用されているストレージプールに、サイトが1つしかないストレージグレードが含まれている場合、2つのサイトでストレージグレードを使用することはできません。これは、変更を行うとイレイジャーコーディングスキームが無効になるためです。

6. [保存 (Save)] を選択します。

完了後

アクティブな ILM ポリシーで使用されているストレージプールに新しいストレージグレードを追加した場合は、新しい ILM ポリシーをアクティブ化して StorageGRID に新しいストレージグレードを強制的に使用させます。たとえば、既存の ILM ポリシーのクローンを作成し、そのクローンをアクティブ化します。

ストレージプールを削除します

使用されていないストレージプールは削除できます。

必要なもの

- を使用して Grid Manager にサインインします [サポートされている Web ブラウザ](#)。
- 特定のアクセス権限が必要です。

手順

1. ILM * > * Storage pools * を選択します

Storage Pools (ストレージプール) ページが表示されます。

2. テーブルの ILM Usage 列を参照して、ストレージプールを削除できるかどうかを確認します。

ストレージプールが ILM ルールまたはイレイジャーコーディングプロファイルで使用されている場合、ストレージプールを削除することはできません。必要に応じて、* View Details * > * ILM Usage * の順に選択して、ストレージプールの使用場所を決定します。

3. 削除するストレージプールが使用されていない場合は、ラジオボタンを選択します。
4. 「* 削除」を選択します。
5. 「* OK」を選択します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。